

キウイフルーツの新しい台木' Bounty' (バウンティ)

Bounty台は果実品質、樹体生育ともに良好

1. Bounty台木とは

Bounty (*A. macrosperma*) は、キウイフルーツの台木として利用可能である。外国では、品質向上に加えて粘質土壌への適応性が高いことから普及が始まっている。香川大学の片岡らは、耐湿性が高いことを報告しており、今後、水田転換園等での利用が期待される。



Bountyの果実

3. 果実品質

表1 台木の違いが果実品質に及ぼす影響

台木の種類	2019年			2020年		
	果実重	糖度	果肉色	果実重	糖度	果肉色
Bounty	78	15.0	112.7	135	15.8	110.5
慣行	40	13.4	116.1	74	13.9	112.7
シマサルナシ	75	14.1	111.5	107	14.4	108.2

※果肉色は未追熟果の赤道部の果皮を剥皮し色彩色差計 (MINOLTA・CR-300) で色相角度 (h°) を2カ所計測した平均値。



Bounty 慣行 シマサルナシ

Bounty台の果実品質は、慣行台、シマサルナシ台よりも果実重が大きくなり、糖度も高くなる傾向であった。

2. 試験方法

供試台木 Bounty台
慣行台 (*A. deliciosa*実生)
シマサルナシ実生台 (府中×中村B)

供試品種 G3 (商品名: サンゴールド)

栽培方法 2016年3月に供試台木を定植後、直ちにG3を接木し供試樹とした。各区3樹としたが、慣行台は生育中に1樹が衰弱したため2樹となった。

4. 樹体生育

表2 台木の違いが樹体生育に及ぼす影響 (2020年12月)

台木の種類	台木幹周 (cm)	主枝長 (m)	樹冠面積 (m ²)	根の乾物重 (g)
Bounty	31.3	5.1	15.7	11,352
慣行	20.6	4.6	8.9	3,407
シマサルナシ	22.0	4.9	13.3	7,301

※根の乾物重は2021年1月~2月にかけて根を掘り上げて調査した。



Bounty



慣行



シマサルナシ

Bounty台の樹体生育は、地上部、地下部とも優れる傾向であった。